

医療・福祉マネジメント研究科リニューアル！

① 新カリキュラムスタート

医療・福祉・介護現場での課題解決を担う専門職の養成に主眼をおいた新カリキュラムをスタートします。実践力を高めるために、幅広い専門知識とマネジメント能力の獲得をめざします。また、本学大学院6研究科の伝統と知見を活用した「大学院共通科目」を充実し、研究方法を学ぶオンデマンド講義の新規シリーズ化や、2024年6月に本学が連携協定を締結した国立長寿医療研究センター（大府市）とタイアップした老年学関連の講義や統計学演習の新規開講を準備中です。

② 修士論文に加え、リサーチペーパーを導入

修士学位請求論文について、研究の成果としての「修士論文」（30,000字程度）に加え、「リサーチペーパー（15,000字以上）」を本格的に導入します。リサーチペーパーとは、医療・福祉分野のさまざまな課題を調査・研究し、実践現場にとって有用な知見をまとめるものです。いずれを選択しても、修士（医療・福祉マネジメント）の学位が取得可能です。



③ 長期履修制度、1年修了などの多様な選択肢

◆仕事や育児、介護等の理由で、標準修業年限（修士課程2年）を超えて3年間で修了をめざす「長期履修制度」により、ライフスタイルに合わせて計画的に学修が可能です。2年目、3年目は授業料が通常1年分の2分の1ずつとなります。

◆入学前に科目等履修制度で修得した単位が10単位以上認定され、優れた研究業績が認められた場合は、「1年修了」が可能となります。授業料は1年分の1.5倍となります。

④ 平日の夜間授業と土曜等の集中講義で効率的に学修

名古屋キャンパスは「鶴舞」駅から約2分の好立地



平日授業は18時25分開始で、仕事とも両立しやすい設定です。一部科目はオンライン併用で開講しており、通学負担の軽減も可能です。また、土曜などに開講する集中講義もあり、時間を有効活用することができます。講義や演習は少人数制で、教員からきめ細やかな研究指導を受ける体制が整えられています。演習科目では多職種間のディスカッションも重視しています。



医療・福祉マネジメント研究科 医療福祉マネジメント専攻

2025 年度からの新カリキュラム（開講予定科目）

（ ）内の数字は単位数

講義時間：1 時限あたり 90 分

講義回数：

8 回（1 単位）、15 回（2 単位）、30 回（4 単位）

大学院共通科目

私の研究テーマと研究方法（2）

研究方法概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

（各 1）オンデマンド

国立長寿医療研究センター連携講座

先端老年社会科学講座（1）

統計解析講座（1）

多職種連携実践Ⅰ（2）

多職種連携実践Ⅱ（2）

単位認定科目

医療・福祉実践科目

ケースメソッド基礎（1）

ケースメソッド演習（2）

スーパービジョン論（2）

プログラム評価論（2）

多職種連携概論（2）

ケアマネジメント論（2）

人材マネジメント論（2）



医療・福祉専門科目

福祉と疾病（1）

福祉と介護（1）

リハビリテーション特論Ⅰ（1）

リハビリテーション特論Ⅱ（1）

ソーシャルワーク論（2）

地域福祉論（2）

医療・福祉マネジメント（2）

医療・福祉政策と経済（2）

家族と社会保障（2）

暮らしと医療福祉制度（2）

多文化共生とディスアビリティ（2）

人権とダイバーシティ（1）



演習科目

専門演習Ⅰ（4）必修

専門演習Ⅱ（4）



研究科目

研究基礎（2）必修

特別研究（4）必修

修士論文（30,000 字程度）または
リサーチペーパー（15,000 字以上）
を提出し、審査に合格が必要

授業時間帯

■ 平日（月～金）

6時限 18:25～19:55

7時限 20:05～21:35

■ 土・日・祝

1時限 09:20～10:50

2時限 11:00～12:30

3時限 13:25～14:55

4時限 15:05～16:35

5時限 16:45～18:15

◇2025 年度入学者を対象とした計画中的内容であり、開講科目および名称、単位数等に変更となる場合があります。

また、一部科目は隔年開講となります。

◇他専攻履修として、社会福祉学研究科 社会福祉学専攻（通信教育）の福祉経営分野等の科目が履修可能となる予定です。

◇修了要件単位数は 30 単位以上（必修科目を含む）です。ただし、修士論文に代わりリサーチペーパーを選択した場合は 34 単位以上です。